

## 武雄市行政改革プランの主な成果〔令和4年度〕

本市では、市民とともに次世代へつなげる健全なまちづくりを目指すため、「行政サービスと資産を見直す」、「行政サービスのデジタル化を図る」、「市民とつながる 地域を活かす」、「職員の働き方と職場を変える」、「将来へ持続できる経営を目指す」を改革の戦略と位置づけ、令和3年3月に第4次行政改革プラン(令和3年度～令和7年度)を策定しました。

このプランに基づき、迅速に対応するコンパクトな組織体制、持続力ある健全な財政運営を目指し、行政改革の35の具体的な取組項目を定めて取り組んでいます。このたび令和4年度の進捗状況をまとめましたので、主な成果をお知らせします。

### 行政サービスと資産を見直す

#### 民間力の活用

- ◆支援が必要な児童が在籍する放課後児童クラブ（5クラブ）において支援員の対応指導に係る業務の民間委託について検討を行いました。
- ◆西川登小学校の水泳授業について民間委託を開始しました。
- ◆眉山キャンプ場の年間利用に向けた設置条例・施行規則の見直しや管理運営方法について検討を行いました。

#### 公共施設マネジメントの推進

- ◆武雄市民球場が完成し、7月より供用開始しました。
- ◆公共施設等個別施設計画に基づき、武雄市新文化交流施設エリア整備基本計画の策定を行いました。

### 行政サービスのデジタル化を図る

#### 行政手続きのデジタル化

- ◆マイナンバーカードの交付率は73.0%となりました。
- ◆令和5年3月27日よりマイナポータルのピタリサービスにおいて子育て・介護関係の手続きが電子申請できるようになりました。

### 市民とつながる 地域を活かす

#### 地域経済の活性化

- ◆西九州新幹線開業を記念した開業イベントとして「秋田竿燈まつりIN武雄」を開催し、約10万人の方にお越しいただきました。
- ◆佐賀県と連携して企業誘致活動を行い、2社と進出協定を締結しました。
- ◆武雄市地域雇用促進協議会による官民一体となった雇用対策事業に取り組み、60名の新規雇用（うち障がい者2名）を創出しました。
- ◆JAや佐賀県と連携して、みどり地区トレーニングファーム事業等に取り組み、5名（うち1名転入者）が新規就農されました。

## 職員の働き方と職場を変える

### 働き方改革の推進

- ◆新型コロナウイルス感染防止対策として昨年に引き続きテレワークの利用促進を行いました。
- ◆WEB会議を活用した研修、打合せを推進しました。

### 定員適正化の推進

- ◆福祉に関する子ども関連業務を一本化するため、「こども家庭課」を設置しました。
- ◆四年制大学を誘致するため、企画部に「大学設置支援室」を設置しました。
- ◆市民課窓口業務の民間委託に伴い、職員数が3名減となりました。

## 将来へ持続できる経営を目指す

### 自主財源の確保

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| ◆まちづくり応援基金への積み立てを行いました。   | 9431万円 |
| ◆差押等により滞納整理を強化しました。       | 1624万円 |
| ◆基金を運用することで利子収益を生み出しました。  | 4062万円 |
| ◆市民球場のネーミングライツによる収入を得ました。 | 150万円  |

### 公営企業・特別会計等の経営健全化

- |       |                   |          |
|-------|-------------------|----------|
| ◆国保会計 | 国民健康保険基金への積立      | 1億円      |
| ◆競輪事業 | 収益から4年連続で一般会計への繰出 | 3億8000万円 |
|       | 競輪施設整備基金への積立      | 4億円      |

## 取組項目以外の実施状況

行政改革プランの取組項目以外でも、少子高齢社会において市民一人ひとりが自分らしく幸せに生きられる、将来にわたり活力ある地域を維持していくために、社会構造の変化に対応したサービスの拡充等を実施しました。

- ◆「武雄市 新・創造的復興プラン」のもと治水対策を推進しました。
- ◆高齢者の方がコロナ禍でも安心して買い物や病院に出かけられるように「高齢者ガソリン券」または「バス・タクシー券」の交付やサロンでの外出に対する支援を行いました。
- ◆新型コロナウイルス感染症対策として感染予防や生活支援、経済対策等を行いました。